

2015年10月号

10月15日(木)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 229



輝く湿原…

花の季節の終わりとともに賑やかだった観光シーズンも終わり、温根内は静けさを取り戻しました。何も無いように見える湿原では今まで見向きもされなかったヨシの穂が光を受けて黄金色に輝き、幻想的に秋の湿原を演出しています。

カケスが山から下りてきました。いきものたちは冬の準備です。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ヨシ】

イネ科 葦、蘆、芦など
花の季節が終わった湿原内ではヨシの穂が秋を演出しています。日の光を受けて輝く姿は、時間帯によってさまざまに色を変えます。



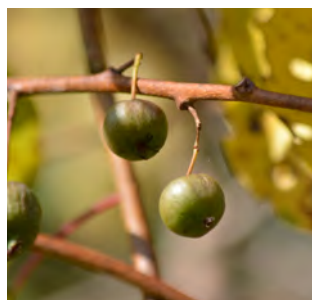
【ガマ】

ガマ科 蒲
フランクフルトの様なガマの果穂が目立ってきました。これからふわふわの綿毛に膨らみ、風に吹かれて実を遠くまで飛ばします。



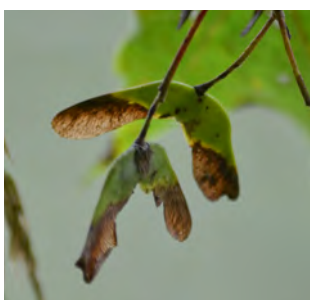
【ナギナタコウシュ】

シソ科 薺刀香薷
温根内では鶴居軌道跡で見られ、最も遅く出現する花の一つです。この花を見ると花のシーズンの終わりが近いことを感じます。



【コクワ(サルナシ)】

マタタビ科 小桑(猿梨)
蔓性の木本で鶴居軌道跡で見られます。2 cm程の実には甘くキウイフルーツのような味がします。ヒグマの好物でもあります。



【イタヤカエデ】

カエデ科 板屋楓
イタヤカエデの実にはプロペラの様な翼(よく)が付いています。翼が風を受けるとクルクルと回りながら遠くへ飛ばされます。



【クジャクチョウ】

タテハチョウ科 孔雀蝶
暖かく晴れた日には木道上で美しい翅を広げて日光浴をする姿が見られます。成虫で越冬し、来春早い時期から活動を始めます。

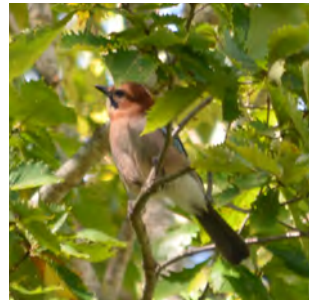
○表紙の写真 上:ヨシの穂 中右:カケス 中左:キタキツネ 下:ハンゴンソウとクジャクチョウ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

ビジターセンター周辺では本格的な渡りのシーズンが始まりました。夏鳥たちの姿を見る機会も少なくなり、上空では旅鳥のヒシクイやオオハクチョウが群れて飛び、冬の使者オオワシもまもなくやってくるでしょう。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出しています。お気軽にご利用ください。



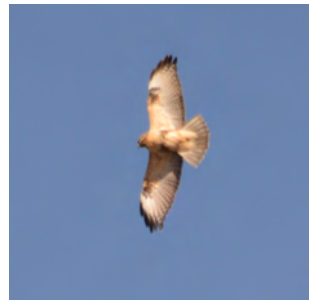
【アオジ】 青鷗
ホオジロ科 夏鳥
今年生まれた幼鳥も立派に成長し、本州以南への長い渡りを始めました。再び釧路湿原へ戻ってくるのは来年の春です。



【カケス】 掛巢、檀鳥
カラス科 漂鳥
秋になり、山から下りてきたカケスはミズナラの木でどんぐりを探していました。北海道にいるのは亜種ミヤマカケスです。



【ヒシクイ】 菱喰
カモ科 旅鳥
越冬地へ南下する途中に釧路湿原へ立ち寄ります。温根内では上空をV字編隊で飛びながら「ガハハン、ガハハン」と鳴いています。



【ノスリ】 鶯
タカ科 留鳥
主にネズミを捕るノスリは温根内では秋から冬にかけてよく見られます。下面は白っぽく、腹巻のような褐色の模様がポイントです。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（9月15日～10月14日）※和名は五十音順

■アキノウナギツカミ■アメリカセンダングサ（確認後引き抜き）■イチゲフウロ■イヌタデ■ウメバチソウ■エゾオオヤマハコベ■エゾゴマナ■エゾシロネ■エゾトリカブト■エゾノコギリソウ■エゾヤマアザミ■エゾリンドウ■オオバセンキュウ■オオバタネツケバナ（季節外れ）■カタバミ■キツネノボタン■キンミズヒキ■クサフジ■クルマバナ■ゲンノショウコ■コウゾリナ■コガネギク■ゴキツル■コハコベ■サラシナショウマ■サワギキョウ■シオガマグキ■シロツメクサ■セイヨウタンポポ■タニソバ■チドリケマン■トウヌマゼリ■ナガボノシロワレモコウ■ナギナタコウジュ■ナズナ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン■ヒョドリバナ■ヘラバヒメジョオン■ホソバアカバナ■ミソソバ■ミツバフウロ■ミツバベンケイソウ■ムラサキツメクサ■メマツヨイグサ■ヤナギタンポポ■ヤマハハコ■ヨシ

※周辺で見られる花は10月7日の暴風雨により、ほぼ無くなりました。通信の花情報も来月号からお休みです。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（9月15日～10月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■マガモ■キジバト■ゴイサギ■アオサギ■タンチョウ■クイナ■トビ■オジロワシ■チュウヒ■ノスリ■フクロウ■コミミズク■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■モズ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ノゴマ■ノビタキ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

☆☆☆☆☆ コラム「タンチョウって夏はどこにいる?!」 ☆☆☆☆☆

厳冬の雪景色の中、天を仰いで鳴き合い、優雅に求愛ダンスを踊る。多くの人が思い描くタンチョウのイメージではないでしょうか？釧路湿原のシンボルともいえるタンチョウは、冬になると給餌場に集まり、日本国内のみならず世界的にも有名です。

ここ温根内ビジターセンターでは、全国各地から訪れるたくさんの観光客の方々から様々なことを聞かれます。タンチョウについての質問も多く、その高い知名度を実感します。

ビジターセンター内には木道を歩いた人が見かけた



給餌場で鳴き合うつがい

自然情報を日付入りで自由に記入し、他の利用者と情報共有できる「自然伝言板」があります。この伝言板に「7月〇日タンチョウ」と書かれていたりすると、

「えー！タンチョウいるんだ？」「夏もいるんだ！」などという声がよく聞かれます。道外からやってくる観光



牧草地で見かけたタンチョウ

客の方々とタンチョウの話をしていると、タンチョウは夏の間、中国やロシアにいて、冬になると北海道にやってくると思っている人が多いことに驚かされます。話を

した人の実に7割～8割くらいはそう思っていました。

北海道のタンチョウは冬期の給餌が終わり、繁殖期を迎えると、大陸へは渡らずに、北海道東部を中心とする湿原やその周辺へ分散し、それぞれのつがい縄張りを構え、子育てを始めます。春から夏にかけては湿原内などで生活し、その姿を目にすることはとても難しくなるのです。このため、冬になると日本にやってくる同じように白く大きな鳥のハクチョウや、鹿児島県出水のナベヅルやマナヅルのように、タンチョウも夏の間は大陸で生活し、越冬するために北海道へやってくる「渡り鳥」だと思っている人が圧倒的に多いようです。

明治後期に絶滅したとされていたタンチョウが大正13年に再発見されたのがここ釧路湿原です。その後の様々な保護活動によって、ようやく1550羽



湿原内で子育てをするタンチョウ

(タンチョウ保護研究グループ 2015)まで回復しました。しかしその多くは冬期の給餌に頼っていて、給餌をやめると自然の餌が少ない冬を越せずに一気に数を減らす恐れがあります。最近では鳥インフルエンザなどの感染症も心配されています。タンチョウは世界でも極東のごく限られた場所に3000羽ほど(北海道の個体数を含む)しか生息していないとても希少な鳥なのです。

私が初めてタンチョウと出会ったのは10年ほど前の夏でした。霧に包まれた標茶町の広大な牧草地で佇んでいる姿を見て、とても幻想的に見えたことを思



デントコーン畑に集まるタンチョウ

い出します。タンチョウは湿原の中でひっそりと暮らしていると思っていたので、はじめは目を疑いました。最近では個体数増加に伴い人間社会との接点で、農業被害や交通事故など、様々な問題が起きています。

釧路湿原を訪れる方々と話していると、タンチョウは知名度が高い割にその生態や現状についてはまだまだ知られていないことに気づきます。自然に興味がある人、それほどでもない人、多くの方が訪れるビジターセンターだからこそ、地元に住む私たちがもっともっとタンチョウについて伝えていかなければならないと感じた今年の夏でした。(温根内ビジターセンター 本藤泰朗)

☆☆☆☆イベントのご案内(11月)事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪リースを作ろう

〔日時〕11月29日(日)13:00～15:00〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕500円(材料費)

〔場所〕温根内ビジターセンター

もうすぐクリスマス♪自然の素材を使ってオリジナルリースを作りましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)⇒お申し込み☎015-487-3003

♪ムックリ(口琴)を作ろう

〔日時〕11月7日(土)13:00～15:00〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕300円(材料費)

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～冬季開館時間について～

冬期間(11/1～3/31)は開館時間に変更になります。冬季開館時間は10:00～16:00です。ビジターセンターご利用の際にはご注意ください。なお、冬期間は日没が早いので、木道をご利用の際は時間に余裕を持って暗くなる前にお戻りください。街灯等は一切ありませんので、真っ暗になり危険です。

.....月刊 温根内通信 No.229

発行: 釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://city.hokkai.or.jp/~kk946/>

Facebook: <https://www.facebook.com/Onnenai.VC>

開館時間: 10:00～17:00(11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料

.....